

「市全域における地域計画策定に向けた委員の取り組み」

京都府 木津川市農業委員会 木津川市地区連絡会議

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

○ 農業委員	:	19人
○ 農地利用最適化推進委員	:	19人
○ 事務局職員	:	5人
○ (関係団体名)	:	○
○ 市町村行政との連携状況	:	地域計画策定に向け市担当者と事務局、委員等が連携し会議を開催



2 地区の特徴、状況、課題

- 木津川市は、京都府南部の旧3町が合併した市で、耕地面積1,400haである。
- 京都府最南端に位置し、やや雨量は少ないが温暖で農耕に好適の立地条件を生かして水稻や茶、たけのこ等の土地利用型作物を基幹作物として、野菜、果樹、花卉等多様な作物が栽培されている
- 市内全域において担い手の不足、有害鳥獣による被害が改善されない状態が続いている

3 委員による継続した話し合いの取組内容

- 地域計画策定に向けて、事務局、農政課、農業委員、推進委員が集まり地区連絡会議を実施。地域計画がどのようなものなのか、策定にあたり委員としての取り組み方について事務局より説明を行い理解を求めた。また、地域の意見のとりまとめについて、委員で行い事務局に報告してもらうよう依頼を行った。(第1回)
- 第2回の地区連絡会議においては、委員によりとりまとめた、地域の意見のとりまとめについて報告してもらい、続いて現況地図作成に向けた、次の取り組みについて協議を行った。

4 成果(京力農場プランの目標実現に向けた取組内容)

- 地域の意見について、全ての計画対象地域から出揃った。
- 現況地図作成のための現状確認を令和6年1月中旬に事務局へ提出するよう調査を依頼。
- 現況地図作成後は目標地図作成に向けた取組を委員により実

※事例候補(地区連絡会議の単位が望ましい)の選定や作成にあたっては、農業会議の現地推進役と相談してください